

# 石見の国

## 7月30日(土)

開場・13:30 開演・14:00

島根県芸術文化センター  
「グラントワ」小ホール

お問い合わせ

島根県芸術文化センター「グラントワ」TEL(0856)31・1860  
財団法人島根県文化振興財団 TEL(0852)22・5505

## 高津神楽社中子ども神楽部 (益田市)

昭和60年に子ども神楽を発足し、県内外で活動しています。また、老人ホーム等への慰問に伺うなど、大変喜んでいただきました。

平成14年3月には、カタールのドーハで開催された「国際青少年民族芸能フェスティバル」に日本代表として出演し、また、ロシア(ウラジオストク)青少年国際交流にも出演しました。国内では、国立オリンピック記念青少年総合センターで青少年民俗芸能フェスティバルに出演し、横浜ドームシアターでも子ども神楽とお囃子に出演しました。

平成12年には、子ども神楽島根県表彰を受け、社団法人青少年育成国民会議より、社会奉仕活動地域貢献の表彰を受けました。また、平成18年には、内閣府が実施する善行青少年及び青少年健全育成功労者表彰を受けました。

現在、毎週金曜日に、2歳から15歳の子ども達が練習を行っています。これからも、部員全員で社会に奉仕し、伝統芸能石見神楽を継承していきますので、よろしくご声援いただきますよう、お願い申し上げます。

## 真砂神楽保存会 (益田市)

明治初期、大神楽神社宮司が齋藤類似(先代)に教えて一座をつくらせたのが、真砂神楽社中のはじめです。昭和50年代真砂神楽保存会と名を改め現在に至っています。この神楽は西流といわれる六調子の神楽でした。その後、浜田長浜を中心としてさかんになった八調子革新神楽舞(東流)は、明治27年鎌手の宇治に波及し、ここを中心として石見西部地方に広まりました。

現在、団員は10代から60代の21名で毎週近所の神社で練習を行っており、20数年前から子ども神楽の指導にも力を入れ、地域の祭り等を発表の場に、文化の伝承、後継者の育成に取り組んでいます。

## 左鏡子ども神楽社中 (津和野町)

平成元年、左鏡小学校舎の竣工記念に石見神楽左鏡社中より「恵比須」を習い舞ったのが始まりです。現在は小学生8人、中学生1人で構成し、毎週1回の練習に励んでいます。特に左鏡小学校全校8人の児童は皆、子ども神楽に入っています。毎年1回の発表会をはじめ、元旦奉納、様々なイベント、地元の奉納神楽、大人神楽の助っ人として活躍しています。現在の大人神楽には、子ども神楽出身が6名、地元に戻り舞の中心として活躍しています。

## 温泉子ども神楽 (雲南市)

平成元年温泉子ども神楽として、観屋神楽の後継者を育成するために発足しました。今年で23年目ですが、毎年発表会等に参加しています。昨年は中国の子どもの交流会もあり、中国大陸の広さにびっくりしました。子ども神楽の輪もだんだんと広がり、地元以外の参加者もおられます。

## 海潮中学校神楽部 (雲南市)

私たちのふるさと、雲南市大東町海潮地区は古事記によると須佐之男命(スサノオノミコト)がヤマタノオロチを退治した後に住まわれたとされる地であり、和歌発祥の地とも言われています。当地区は古くから神職神楽や里神楽(さとかぐら)が盛んな土地柄でしたが、本校でもクラブ活動という形で生徒による神楽の伝承が行われてきました。平成3年から部活動となって現在は男子8名・女子7名の計15名で活動しています。

(順不同)

# 島根県子ども神楽 交流フェスティバル

島根県は神々にまつわる伝説が数多くのこさされ、神話に彩られた地域です。そんな県内各地の様々な魅力を発信しようとして、島根県では「神々の国しまね」プロジェクトを実施しています。この事業の一環として、県内の子ども神楽団体の交流と次世代の育成につながる目的で「子ども神楽交流フェスティバル」を出雲・石見で開催します。「石見の国」グラントワ、「出雲の国」チェリヴァホールにぜひお越しください。

# 出雲の国

## 8月21日(日)

開場・13:30 開演・14:00

木次経済文化会館  
チェリヴァホール

お問い合わせ

チェリヴァホール TEL(0854)42・1155  
財団法人島根県文化振興財団 TEL(0852)22・5505

## 深野神楽子ども教室 (雲南市)

平成15年に小学生を対象とし開講。指導は深野神楽保存会で毎月第2・4土曜日に練習し、練習の成果を毎年2月の発表会で披露しています。年々レベルが上がり、大人でも難しいとされる壺や神歌、笛を習得。大人顔負けの舞台を披露し評判をよんで各地から公演依頼を受けるようになっていきます。

今年が9年目となり、教室生だった子が中学、高校生として大人の神楽に参加するようになっていきます。伝統芸能を受け継いでいく子どもたちに地域も大きな期待をかけています。

## 西村神楽社中 (隠岐の島町)

貞享年間(1684年)に既に行われていたとされます。古くは他村の社家の一団を招き旧暦6月初日の日に執行されていましたが、昭和25年に伝授を受けた地元住民によって8月14日宵から夜を徹して区内安全、五穀成就、悪病防除、海上安全、漁幸円満の祈願成就の為、奉納されています。神職によるお祝いから始まる神事です。

## 土江子ども神楽団 (大田市)

土江子ども神楽団は資料に約300年の歴史があると言われ、その間、地震や火災、戦争などによって何度か中断したものの、その都度、復活し今日まで存在してきました。

団の構成は、小学校1年生から中学3年生まで34名が所属し、週2回の練習を重ね、最近では東京や愛知万博などの県外、ドイツミュンヘンや韓国、中国等と海外での公演も行っています。

子ども達は神楽の面白さ、楽しさなど醍醐味を味わうとともに自立心を養い、積極性を身につけ成長の糧としていきます。

## 大尾谷子供神楽団 (浜田市)

大尾谷子供神楽団は、平成18年7月に大人の尾谷神楽社中の指導の元、結成致しました。現在小学1年生から中学3年生、16名の団員で日々練習に励んでおります。神楽活動を通じて将来を担う継承は勿論のこと、礼儀、挨拶、感謝の意をやしなっていく子どもの育成に努めてまいります。

神楽が大好きな子ども達が集まり、一生懸命練習してまいりました。まだまだ演目は少ないですが、今後に向け精進してまいります。今後ともご声援をよろしくお願ひいたします。

## 有福子供神楽社中 (浜田市)

有福子供神楽社中は平成15年に活動を再開して今年で9年目になりました。毎週土曜日の夕方浜田市や江津市といろいろな地域から集まって、約2時間程度の練習をしています。

今年の3月27日に第7回「有福子ども神楽教室 発表会」を開催して大盛況に終わることができました。

毎年、地元の秋祭りでの奉納や近隣のイベント等に参加するなど好評を得ています。

(順不同)